

ライチ便り No. 59

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2024年7月号～
<http://lychee-club.jp/>

暑中お見舞い申し上げます。

5月24日に行った年次総会で、今年度の福岡広州ライチ倶楽部の活動はスタートしました。企画した「6月下旬広州訪問」は参加希望者が催行人数に達しなかったために延期となりました。

ライチ便りの発行がすっかり遅れてしまいましたが、今回は端午節期間中に行われる広州の伝統行事「龍舟レース」について調べて記事にしましたのでご覧ください。

中国の龍舟レース

龍舟レースは中国の端午節に行われる行事で、中国の南部地方で特に盛んです。その起源は戦国時代（BC5世紀～AD221）にさかのぼり、諸説ありますが、憂国の政治家・詩人屈原を記念する行事という説が有力です。

屈原は中国の戦国時代、楚の国の大臣でした。彼の提唱した「国を強化し、齋と連合して秦に対抗すべし」との政策は強烈な反対にあい、彼は湖南地方へ追放されました。紀元前278年、秦軍に攻められ祖国が敗れたことをはかなんだ屈原は、5月5日、絶筆の『懐沙』を書き残して汨羅（べきら）江に身を投じたのです。

屈原の死後、民衆は嘆き悲しみ、その亡骸を引き上げようと先を争って汨羅江に小船を出し、洞庭湖まで来ましたが行方は知れませんでした。この後、毎年5月5日には龍舟を漕ぎ出して、川の魚を追い払い、屈原の身体が魚に食べられないようにしたといわれています。



今日行われているレースは、地方によって舟の大きさや漕ぎ手の人数などは異なっており、広州黄埔一帯では33メートルの龍舟に漕ぎ手が約80人、南寧では20メートルの舟に約50～60人、福建省福州では18メートルに32人などとなっていますが、

細長い舟の舳先と艫に龍頭と龍尾の飾りをつけることは共通しています。しかしその材質や色、形はそれぞれです。

近隣の日本やベトナム、華僑・華人を通して遠くはイギリスやドイツにまで伝わっており、2010年の広州アジア競技大会では正式競技種目になりました。2011年5月には中国の無形文化遺産に選ばれています。

2024 広州国際龍舟招待レース

国家体育総局社会体育指導センター・中国龍舟協会・広州市人民政府の共催により、6月16日、珠江の中大北門～広州大橋の間で開催され、一般男子、一般女子、国際男子、大学の4種類のグループに分かれた111艘の龍舟が、600メートルの河面で速度を競い



あいました。競技参加者は約4000人、これにはアメリカ、カナダ、マレーシア、カザフスタン及び香港、マカオのチームも含まれています。予選、準決勝、決勝と表彰式が行われ、その間では伝統的な龍舟の紹介や、龍が舞い踊る様子の演技なども披露されました。

端午節の期間中には、広東省・広州市各地でそれぞれに龍舟レースが行われており、それに因んだ音楽や踊りのイベント、粽（ちまき）などを含む料理の出店などもあって大いにぎわいました。

福岡ー広州間の直行便が復活します

西日本新聞でご覧になった方も多いと思いますが、9月20日から福岡と広州が春秋航空の直行便で再び結ばれます。しかもデイリーで、以前よりとても安価です。以前は中国南方航空が直行便を飛ばしていましたが、2016年10月から運休していて、ライチ狩りに行くのも上海や香港、時には仁川を経由して行かざるを得ませんでした。

福岡発は午前11時55分、広州発は朝の6時55分、3時間余のフライトで目的地に直接到着できるので、とても効率よく旅行の第一日目が過ごせます。吉報ですね！

-
- *当倶楽部のHPと各種SNSを開設しています。是非アクセスしてみてください。
 - *会費未納の方は、今年度会費の振込をお願いします。個人：3000円 団体：一口10000円
 - *会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。